

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物感染症学Ⅲ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位 (30時間)	必須

授業の概要

感染症学Ⅰでは主に寄生虫感染症を、感染症学Ⅱでは感染のメカニズムや感染症に関わる法律、さらに免疫学の理解からワクチンや狂犬病の理解を深めた。感染症学Ⅲでは、感染症学Ⅱで履修した病原性微生物の概要から、各病原体（細菌、真菌、ウィルス、プリオン）の構造や病原性から理解を深め、それらが引き起こす感染症について、臨床で見られるものを中心展開していく。さらに感染症を予防するための滅菌法や消毒法をそれぞれの特徴とともに覚え、予防技術をつけるものとする。

授業終了時の到達目標

- ・細菌、真菌、ウィルス、プリオンの形態や特徴を理解し、それらが原因となる疾患はどのようなものがあるのか覚える。
- ・ワクチンで予防できる犬猫のウィルス疾患について詳しく理解する。
- ・感染症予防として、滅菌・消毒の概念を理解し、各消毒液や滅菌法の特徴を覚える。

実務経験有無	実務経験内容
有	動物病院での動物看護業務（6年） 専門学校講師（18年） 猫カフェの開業・経営（動物展示及び飲食店業務）（3年）

時間外に必要な学修

普段使用している消毒液はどのような薬名でどの微生物に効果があるのかを意識する。

回	テーマ	内 容
1	微生物学の歴史、プリオン	微生物の誕生とそれらに関わる人物、微生物検査 プリオンの特徴とプリオン症
2	細菌学① 細菌の構造	細菌の分類と構造（グラム陰性菌と陽性菌） 細菌性疾患
3	細菌学② 細菌の特徴	芽胞菌と細菌の増殖 細菌培養と薬物感受性試験、治療薬（抗生素）
4	細菌学③ 特殊な細菌 真菌の構造	マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア 真菌の構造
5	真菌性疾患	表在性（马拉セチア／皮膚糸状菌症）、深部皮膚性、深在性真菌疾患と真菌中毒
6	ウィルスの特徴	ウィルスの構造と特徴
7	ウィルスと細胞変性効果 犬のウィルス性感染症①	ウィルス疾患による封入体形成（細胞質内か核内か） ケンネルコフとジステンパー
8	犬のウィルス性感染症②	パルボ／伝染性肝炎／レプトスピラ症／コロナウィルス
9	猫のウィルス性感染症①	猫伝染性鼻気管炎、猫カリシウィルス、猫パルボ
10	猫のウィルス性感染症②	猫白血病、猫エイズ
11	猫のウィルス性感染症③ まとめ	猫伝染性腹膜炎、猫クラミジア
12	微生物検査／バイオセーフティ管理	ウィルス診断の種類とバイオセーフティ管理
13	滅菌と消毒	滅菌法と消毒法
14	消毒液の特徴	それぞれの消毒液の特徴について

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	消毒液の特徴	有効な消毒液の使い方／各水準別特徴		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
プリント 基礎動物看護学 3 動物感染症学		確認テスト 確認テスト 期末試験	20.0% 40.0% 40.0%	

作成者：田上 真紀

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物外科看護学 I	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

外科手術に関する学ぶ
手術の準備から片づけなど、手術に関する学ぶ

授業終了時の到達目標

外科手術の流れがわかる
滅菌の意識が身につく
手術の準備ができるようになる
手術の助手に入る準備ができる

実務経験有無 実務経験内容

有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務
---	------------------------------------

時間外に必要な学修

修得した内容の復習と繰り返しの練習

回	テーマ	内 容
1	外科動物看護学とは	科目の目的 術前検査、手術準備、手術中・後の管理、手術助手の役割
2	外科手術における動物看護師	手術チームでの動物看護師の役割
3	術前準備	術前検査と術前手続き 手術準備室と手術室の準備
4	道具の滅菌と取り扱い1	手術時の滅菌と消毒 道具の滅菌方法 オートクレーブ・EOG 道具の取り出し方 台の消毒
5	道具の滅菌と取り扱い2	手術時の滅菌と消毒 道具の滅菌方法 オートクレーブ・EOG 道具の取り出し方 台の消毒
6	手術で使用する道具1	手術器具(メス・鋏・針・持針器・鉗子) 1
7	手術で使用する道具2	手術器具(メス・鋏・針・持針器・鉗子) 2
8	手術で使用する道具3	手術器具(メス・鋏・針・持針器・鉗子) 3
9	手術で使用する道具4	手術に使用する糸と縫合方法
10	麻酔・鎮静1	麻酔の仕組、種類、作用と代謝・排泄、麻酔の流れ
11	麻酔・鎮静2	実際の麻酔法と周術期疼痛管理
12	モニタリング1	モニタリングに関する知識・使い方・判断方法1
13	モニタリング2	モニタリングに関する知識・使い方・判断方法2
14	モニタリング3	モニタリングに関する知識・使い方・判断方法3

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護の教科書 動物外科看護学 動物看護学テキスト	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

作成者：田上 真紀

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床看護学各論 I		動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位 (30時間)	必須	田上 真紀

授業の概要

様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。

授業終了時の到達目標

動物の主な疾患の看護について実践でき、
また、飼主に疾病の予防を説明できる

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

時間外に必要な学修

学んだ内容の復習と、予習として学ぶ内容の形態機能学の復習をしておく

回	テーマ	内 容
1	臨床動物看護学各論とは	学ぶ目的 授業の進め方 基本最初に確認テストを実施 症状と徴候と病気との関係 GW
2	代表的な徴候 1	代表的な全身徴候とその原因 GW
3	代表的な徴候 2 皮膚の病気 1 皮膚病の原因と感染性の皮膚病 1	特異的徴候とその原因 動物病院来院数の多い疾患 皮膚病の徴候、皮膚病の原因による分類と寄生虫による皮膚病
4	感染性の皮膚病 2	真菌と細菌による皮膚病
5	感染性の皮膚病復習 非感染性の皮膚病 1	アレルギーによる皮膚病 特徴と治療方針 アレルギーによる皮膚病（食餌性アレルギー）
6	非感染性の皮膚病 2	アレルギーによる皮膚病（アトピー・接触性・ノミ） 皮膚腫瘍・自己免疫性疾患
7	非感染性の皮膚病 3	内分泌疾患による皮膚病 1
8	非感染性の皮膚病 4	内分泌疾患による皮膚病 2
9	皮膚病に関連した外耳炎	耳の構造 外耳炎
10	消化器の病気 1	消化器の構造と機能（復習） 嘔吐と吐出について
11	消化器の病気 2	下痢の種類と対処方法
12	消化器の病気 3 腸の疾患 1	パルボウイルス感染症
13	消化器の病気 4	慢性腸症・炎症性腸疾患・ 免疫抑制薬反応性腸炎・腸リンパ管拡張症
14	各論 I 振り返り	各論 I で学んだ内容の振り返り

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末テスト	期末テスト		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ビジュアルで学ぶ動物看護学 動物看護の教科書	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床検査学 I	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。

授業終了時の到達目標

臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことが出来る。

実務経験有無 実務経験内容

有

岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

動物臨床検査学実習 I と連動した授業のため、学習した内容を動物検査実習 I で実践し、理解する必要がある

回	テーマ	内 容
1	導入、感度特異度、 BT実習練習	導入、感度特異度座学 BT実習練習（採血犬：いなり・こんぶ）
2	春の健康診断① フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日：対象動物はF薬投与！
3	春の健康診断② フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日：対象動物はF薬投与！
4	BT座学、実技試験周知	血液検査（生化学検査）について
5	RVワクチン接種 顕微鏡（復習） 血球カウント	ワクチン準備、保定練習 スタッフ犬＆もこ RVワクチン接種 顕微鏡（復習）・血球カウント（血球について座学）
6	皮膚、耳検査	皮膚、耳検査座学、実習
7	画像診断	レントゲン、CT
8	混合ワクチン接種 輸液、皮下点滴 復習	混合ワクチン接種 輸液、皮下点滴 復習
9	留置 復習	留置 復習
10	尿検査座学、実習	尿検査座学、採尿実習、尿検査実習
11	糞便検査座学、実習	糞便検査座学、採便実習、便検査実習
12	眼科検査	シルマー試験、眼圧測定、フルオレセイン染色 等
13	神経学的検査	神経学的検査

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	期末試験（実技試験）	実技試験実施（BT手技&Xray保定）		
15	期末試験（筆記試験）	筆記試験実施（持ち込み可）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・臨床動物看護学② ・動物看護学テキスト		期末試験 課題・レポート	60.0% 40.0%	

作成者:本山 みれな

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物生活環境学	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須
授業の概要			

動物の行動様式を理解したうえで、家庭等における飼育環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設および動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。

授業終了時の到達目標

ペットと人が共生する環境の整備に関する基礎知識を身につける。

各種施設の役割と実際の運営方法を理解する。

ペット飼育におけるマナーやリスク管理について学び、適切な対応策を考えられる。

ペットを飼う人々へのアドバイスができるようになる。

実務経験有無 実務経験内容

有	佐賀県の動物病院で2年間動物看護師として勤務
---	------------------------

時間外に必要な学修

講義で学んだ知識を身の回りの事例に当てはめて確認する

レポートを作成し、提出する

回	テーマ	内容
1	導入、飼養環境整備①	導入、飼養環境整備(法律・基準・ペットのニーズ)
2	飼養環境整備②	犬の飼養環境整備
3	飼養環境整備③	猫の飼養環境整備
4	飼養環境整備④	知育玩具の作成とレポート提出
5	飼養環境整備⑤	知育玩具の作成とレポート提出
6	飼養環境整備⑥	知育玩具の作成とレポート提出
7	ペットツーリズムとドッグラン①	宿泊施設、移動手段、観光地でのペット受け入れ
8	ペットツーリズムとドッグラン②	ドッグランの設計・運営
9	保護収容施設	動物愛護センター、シェルターの役割
10	ペットの教育・訓練施設	トレーニングセンターの概要、しつけの重要性
11	動物介在教育施設	動物介在活動、教育への活用
12	ペット飼育のマナー	公共の場でのマナー、トラブル事例
13	事故やケガのリスク管理	咬傷事故、逃走事故、災害時対応
14	総復習	学んだことを総復習する

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	筆記試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
10巻	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 ・授業毎の配布プリント	期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床検査学実習 I	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	1単位（30時間）	必須

授業の概要

さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。

授業終了時の到達目標

臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことが出来る。

実務経験有無 実務経験内容

有

岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

動物臨床検査学実習 I と連動した授業のため、学習した内容を動物検査実習 I で実践し、理解する必要がある

回	テーマ	内 容
1	導入、感度特異度、 BT実習練習	導入、感度特異度座学 BT実習練習（採血犬：いなり・こんぶ）
2	春の健康診断① フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日：対象動物はF薬投与！
3	春の健康診断② フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日：対象動物はF薬投与！
4	BT座学、実技試験の周知	血液検査（生化学検査）について
5	RVワクチン接種 顕微鏡（復習） 血球カウント	ワクチン準備練習、保定練習 スタッフ犬＆もこRVワクチン 顕微鏡（復習）・血球カウント（血球について座学）
6	皮膚、耳検査	皮膚、耳検査座学、実習
7	画像診断	レントゲン、CT
8	混合ワクチン接種 輸液、皮下点滴 復習	準スタッフ犬混合ワクチン 輸液、皮下点滴 練習
9	留置 復習	留置 復習
10	尿検査 復習	尿検査座学、採尿実習、尿検査実習
11	糞便検査実習	糞便検査座学、採便実習、糞便検査実習
12	眼科検査	各種眼科検査について、 座学 & 実習
13	神経学的検査	各種神経学的検査について 座学 & 実習

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	期末試験（実技）	実技試験実施（B T手技、Xray保定）		
15	期末試験（筆記）	筆記試験実施（持ち込み可）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・臨床動物看護学② ・動物看護学テキスト		期末試験 課題・レポート	60.0% 40.0%	

作成者：田上 真紀

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態			
動物外科看護学実習 I	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	実習			
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択			
90分	15回	1単位 (30時間)	必須			
授業の概要						
外科手術に関する学ぶことを学ぶ 手術の準備から片づけなど、手術に関する学ぶ						
授業終了時の到達目標						
外科手術の流れがわかる 滅菌の意識が身につく 手術の準備ができるようになる 手術の助手に入る準備ができる						
実務経験有無	実務経験内容					
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務					
時間外に必要な学修						
修得した内容の復習と繰り返しの練習						
回	テーマ	内 容				
1	外科動物看護学とは	科目の目的 スケジュール 手術での看護師の役割・必要な知識とは				
2	術者・助手の準備 1	手洗い 手拭きタオルのたたみ方と滅菌				
3	術者・助手の準備 2	ガウン・手袋の付け方とたたみ方				
4～8	術者・助手の準備 3	手洗い・ガウン・手袋 練習				
9～10	外科実習実技試験 1	手洗い・ガウン・手袋 実技試験				
11	毛刈り・消毒 台への固定 1	毛刈り・消毒 台への固定の方法→練習				
12～13	毛刈り・消毒 台への固定 2	毛刈り・消毒 台への固定 練習				
14～15	外科実習実技試験 2	毛刈り・消毒 台への固定 実技試験				
教科書・教材	評価基準	評価率	その他			
動物看護の教科書 動物外科看護学 動物看護学テキスト	実習・実技評価 実習・実技評価	50.0% 50.0%				

作成者：西村 美笛

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	1単位(30時間)	必須

授業の概要

学校スタッフ犬猫の飼育、管理を通して、実践的な飼育技術を身につける。

授業終了時の到達目標

学校スタッフ犬猫の飼育及び管理を通して、飼育技術を身につけるとともに、小さな変化にも気付き適切な対応ができるようになる。

実務経験有無 実務経験内容

有

岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

常に動物の健康状態を観察すること

回	テーマ	内 容
1	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
2	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
3	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
4	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
5	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
6	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
7	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
8	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
9	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
10	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
11	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
12	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
13	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理
14	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
動物看護学テキスト	課題・レポート 実習・実技評価		50.0% 50.0%	

作成者：角田 有優美

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
トリミング実習Ⅲ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	30回	2単位（60時間）	必須

授業の概要

動物看護師として求められる犬の美容技術習得の為、道具と犬体の扱い方、グルーミング作業の指導。

授業開始前に前回の授業の反省点や良い点、一日の目標と反省を記入するノートを作成させ復習を習慣づける。

授業終了時の到達目標

モデル犬の健康維持のために必要な美容技術の習得。ボディークリッピングや部分カットができるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること

時間外に必要な学修

ペット美容学で学ぶ美容知識。1日1回、犬体の絵を描くことによる犬体の理解。シザーリンク

回	テーマ	内容
1～5	モデル犬のグルーミングと部分カット	各種道具の扱い方、犬体の保定を意識しながらグルーミングに必要な各作業を実習。2名で2頭のグルーミングを行う。
6～19	時間を意識したグルーミングと犬に負担をかけない保定を行う	各作業の作業時間を意識し、モデル犬に負担をかけないよう作業を行う。1～2名で1～2頭のグルーミングを行う。
20～28	1人でグルーミング作業を完了させる	サロントリマー3級試験合格を目指し、1人で1頭のグルーミングを120分で完了させるための技術の習得を行う
29	サロントリマー3級試験兼、期末試験	サロントリマー3級試験兼、期末試験を実施
30	サロントリマー3級試験兼、期末試験	サロントリマー3級試験兼、期末試験を実施

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ドッグ・プロフェッショナル・グルーマーズ・ワークブック	実習・実技評価 課題・レポート 期末試験 検定結果	30.0% 20.0% 30.0% 20.0%	実習・実技評価は実習中の授業態度や協調性、モデル犬の扱いなどを総合的に評価します

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ペット美容学Ⅱ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

動物看護師として求められるペット美容の基礎知識を学び、動物病院におけるペット美容の質が向上し、より多くの動物と飼い主の貢献できる知識を習得する。また、AAV主催サロントリマー試験合格を目指とした検定対策を行う。

授業終了時の到達目標

動物看護師がこれらの知識と技術を習得することで、動物の健康管理と異常を発見し、早期診断・早期治療に繋げる

実務経験有無	実務経験内容
有	ペットショップ店長、動物看護師の経験有。ドッグショーにおいてハンドラーとして活動中。これらの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

グルーミング実習において、問題点を発見する

回	テーマ	内 容
1	ペット美容学の科目内容と1年次の復習	ペット美容とは、ペット美容を行う目的、2年次に学ぶこと、知識が身に付き、技術が上達する秘訣
2	ペット美容に関わる犬学1(犬学とは)	犬学を学ぶ目的や用語の意味を理解する。犬の進化と分類の概要を学ぶ。
3	ペット美容に関わる犬学2(骨格構成)	骨格の位置と名称、人と犬の骨格の違い、犬種ごとの骨格の違い
4	ペット美容に関わる犬学3(犬体)	犬体の名称、犬種ごとの体型・骨格の違い、バランスの良い体型、犬体を描く練習
5	犬体を描く	犬の描き方、代表的な犬種、体高10:体長10の体型、ドワーフの体型
6	犬体各部の特徴と名称	スタンダードにおける体型の理解、被毛の特徴と役割、犬種による外観的特徴、犬種による被毛の種類
7	ペット美容に関わる行動学1	動物行動学で使用される用語、行動学におけるグルーミングのしつけ、「オペラント条件づけ」によるグルーミングのしつけ
8	ペット美容に関わる行動学2	犬のしつけとは、グルーミング行動、社会化期におけるグルーミングのしつけ、グルーミングに慣れさせる
9	犬と猫の手入れ方法の違い	犬と猫の被毛の手入れの違い、ブラッシング、ベイジング、爪切り、トリミング、扱い方の違い
10	猫のグルーミング	猫の皮膚と被毛の特徴、猫のグルーミング中に起こりやすい皮膚トラブル、猫のグルーミング
11	ペットエステ	ペットエステとは、ペットエステの種類
12	サロントリマー3級試験対策1	サロントリマー3級試験対策
13	サロントリマー3級試験対策2	サロントリマー3級試験対策
14	サロントリマー3級筆記試験	サロントリマー3級筆記試験を実施

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験を実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ドッグ・プロフェッショナル・ワークブック		期末試験 確認テスト 検定結果	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物看護技術実習Ⅰ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	1単位(30時間)	必須

授業の概要

愛玩動物看護師として必要不可欠な看護の実践的技術力を高める。

授業終了時の到達目標

- 1) 愛玩動物看護師の基礎技術を習得する。
- 2) 愛玩動物看護師の基礎技術を高める。

実務経験有無 実務経験内容

有

佐賀県の動物病院で2年間動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内 容
1	導入、形態機能学復習テスト①	導入、形態機能学復習テスト①
2	形態機能学復習テスト②	形態機能学復習テスト②
3	保定①	基本保定、道具を使用した保定
4	保定②	採血時の保定
5	全身検査	全身検査
6	薬量計算①	薬量計算(輸液計算)
7	薬量計算②	薬量計算(薬剤計算、その他)
8	調剤、薬剤投与①	調剤、薬剤投与(錠剤)
9	調剤、薬剤投与②	調剤、薬剤投与(粉剤・液剤)
10	輸液①	輸液ライン、輸液ポンプ
11	輸液②	留置
12	ワクチン・シリンジ・注射器	ワクチン準備、シリンジ・注射針の復習と扱い練習
13	血液検査	血液処理、血液検査手技
14	採血練習①	採血練習

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	採血練習②	採血練習		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護学テキスト 愛玩動物看護技術プラクティス	実習・実技評価 課題・レポート	50.0% 50.0%	

作成者：西村 美笛

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
生命倫理・動物福祉	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授業の概要

生命倫理の考え方および動物愛護・動物福祉について学ぶ。

授業終了時の到達目標

- 1) 生命倫理の考え方と、獣医療の関りについて理解する。
- 2) 動物福祉の考え方と、世界と日本の福祉思想の違いについて理解する。
- 3) 各動物種の福祉問題について理解する。

実務経験有無 実務経験内容

有 岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務。

時間外に必要な学修

普段の生活に関わる動物の福祉について考える。

回	テーマ	内 容
1～4	導入、生命倫理の概念と様々な動物観①	導入、生命倫理の考え方、動物観の歴史的変遷
5	近現代における動物観の変化 動物福祉の概念①	近現代における動物観の変化 動物福祉とは、近代～現代の動物愛護運動
6	動物福祉の概念②	動物福祉とは、近代～現代の動物愛護運動、日本の動物愛護と世界の動物福祉、安楽死の考え方
7	動物福祉の評価	動物福祉の評価とは、生理学的指標、行動学的指標
8	動物福祉と社会	法律、経済活動、動物福祉教育、動物保護活動
9～10	愛玩動物の福祉①	愛玩動物飼育の現状と福祉、飼育放棄と飼い主のいない犬猫問題、愛玩動物福祉対策
11～12	産業動物の福祉①	産業動物福祉改善の歴史と定義、課題、国際的福祉基準
13～14	実験動物の福祉 展示動物の福祉	実験動物の福祉と法規制、環境エンリッチメントなど 展示動物の福祉
15	期末試験	筆記試験実施

教科書・教材 評価基準 評価率 その他

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 生命倫理・動物福祉	期末試験 確認テスト	60.0% 40.0%	
--------------------------------	---------------	----------------	--

作成者：田上 真紀

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
比較動物学 I	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ

授業終了時の到達目標

愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物などの飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけおよび特徴について理解する
家畜の歴史と品種、特徴について理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内 容
1	動物の種類および特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物、野生動物
2	産業動物－牛①－	歴史、特性、品種、解剖・生理
3	産業動物－牛②－	飼養管理、牛に多い疾病
4	産業動物－馬①－	歴史、馬の活用、現在の飼育状況、代表的な品種の特徴
5	産業動物－馬②－	解剖・生理、飼養管理、馬に多い疾病
6	産業動物－豚①－	歴史、品種・特性、解剖・生理
7	産業動物－豚②－	飼養管理、豚に多い疾病
8	産業動物－羊－	歴史、品種ごとの特性、解剖・生理、飼養管理、羊に多い疾病
9	産業動物－山羊－	歴史、品種・特性、生理、飼養管理、山羊に多い疾病
10	産業動物－鶏①－	歴史、品種、解剖・生理
11	産業動物－鶏②－	飼養管理、鶏に多い疾病
12	畜産業①	畜産業とは 日本の畜産
13	畜産業②	畜産業の地域による特徴 畜産業の生産費の構成割合
14	まとめ	これまでの学習のまとめ

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 (EDUWARD Press)	期末試験	100.0%		
愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学 (緑書房)				
動物看護コアテキス第3版 2基礎動物学Ⅱ (ファームプレス)				

作成者：田上 真紀

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物病理学	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位 (30時間)	必須

授業の概要

動物の疾病の成り立ちに関する学ぶ

授業終了時の到達目標

発病のメカニズムについて理解し、動物病院での病理検査の意義について理解する。

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

時間外に必要な学修

毎回確認テストを行う。学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。

回	テーマ	内容
1	病理学とは？	病理学を学ぶ目的・評価方法など 病理標本の作り方
2	組織について	細胞の構造（組織学）
3	組織について	細胞の遺伝と増殖・遺伝性疾患
4	発病のメカニズム	なぜ発病がおこるのか? アポトーシス・壊死
5	細胞の変化	変性・化生・萎縮 肥大と過形成
6	再生の仕組み	再生と創傷治癒
7	循環障害 1	血液の循環障害で起こること
8	循環障害 2	血液凝固系と血栓、組織液の循環障害
9	循環障害 3	ショックと炎症
10	免疫異常 1	自然免疫と獲得免疫
11	免疫異常 2	アレルギーと自己免疫性疾患
12	腫瘍 1	腫瘍の種類とその特徴 担がん動物の特徴と診断
13	腫瘍 2	腫瘍の治療と食事療法
14	腫瘍 3	飼い主ケアと担がん動物の看護

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護の教科書 第2巻・第3巻	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
公衆衛生学 I	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解し、愛玩動物看護師として、社会に貢献出来ることを目指す。

授業終了時の到達目標

公衆衛生とは何かを学び、重要性を理解して、現場で実践出来るようになる。
感染症について学び、予防対策が出来るようになる。
環境・食品に関する衛生活動が出来るようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務 岡山県内の夜間動物病院にて愛玩動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

授業始めに、その日学ぶ内容の小テストを出します。期末テストに向けての復習に加え、次回に向けての予習をする習慣をつけましょう。

回	テーマ	内 容
1	公衆衛生学 I の導入	過去問を解く
2	動物看護師と公衆衛生	公衆衛生の目的～愛玩動物看護師と公衆衛生学
3	疫学と疾病予防	疫学とは～サーベイランス
4	細菌性人獣共通感染症① 真菌性人獣共通感染症①	猫ひっかき病など4つの感染症
5	細菌性人獣共通感染症② 真菌性人獣共通感染症②	ライム病など5つの感染症
6	細菌性人獣共通感染症③	ライム病など5つの感染症
7	細菌性人獣共通感染症④	赤痢など4つの感染症
8	細菌性人獣共通感染症⑤	レプトスピラ症など5つの感染症
9	寄生虫①	原虫、外部寄生虫による感染症
10	寄生虫②	線虫類、吸虫類、条虫類等による感染症
11	新興感染症と再興感染症	新興感染症と再興感染症
12	狂犬病予防の重要性	狂犬病予防の重要性
13	ワーク①	オリジナル問題を作る
14	ワーク②	オリジナル問題を解き、解説をする

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	公衆衛生学Ⅰで学んだこと		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		期末試験 確認テスト 課題・レポート	80.0% 10.0% 10.0%	

作成者：田上 真紀

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物外科看護学Ⅱ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授業の概要

様々な外科疾患について治療手技などを交えて学ぶ

授業終了時の到達目標

一般的な外科疾患の治療方法を理解し治療の補助ができるようになる

実務経験有無

実務経験内容

有

岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

時間外に必要な学修

学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。

回	テーマ	内 容
1	外科学Ⅰの復習①	小テスト ・手術器具と縫合糸について（復習と追加）
2	外科学Ⅰの復習②	・麻酔について（追加） ・疼痛管理について
3	創傷管理と包帯法	縫合方法と創傷の管理、包帯法
4	外科疾患と治療 整形外科①	外科疾患と治療 整形外科①
5	整形外科②	脱臼・股関節形成不全の治療方法と看護
6	整形外科③	椎間板ヘルニア・骨肉腫の治療方法と看護
7	リハビリ①	リハビリテーションの目的
8	リハビリ②	リハビリテーションの方法
9	救命救急 1	生命兆候のアセスメント、 呼吸・循環管理、保温、止血
10	救命救急 2	気管挿管、心肺蘇生、 その他救命処置
11	消化器系・泌尿器系・生殖器系①	消化器系の手術時の注意
12	消化器系・泌尿器系・生殖器系②	泌尿器・生殖器系の手術時の注意
13	帝王切開・腫瘍外科治療	帝王切開・腫瘍の手術時の注意
14	その他の手術 器具の洗浄・オペレコ	様々な手術助手の考え方 器具の洗浄とオペレコの書き方

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末テスト	期末テスト		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第8巻 動物看護のテキスト 配布プリント	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

作成者：田上 真紀

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅱ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。

授業終了時の到達目標

動物の主な疾患の看護について実践でき、また、飼主に疾病の予防を説明できる

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

時間外に必要な学修

毎回確認テストを行う。学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。

回	テーマ	内容
1	消化器の病気5	腸の疾患と消化管内異物 腸閉塞・腸重積・腸内異物・胃内異物・食道内異物
2	消化器の病気6	胃の疾患 胃炎・幽門狭窄・胃拡張胃捻転症候群
3	消化器の病気7	食道と腸の疾患 大食道症・右大動脈弓遺残・直腸脱・巨大結腸症
4	消化器の病気8	消化器の関係するヘルニア 脊・鼠径・会陰・横隔膜ヘルニア
5	消化器の病気9	口腔の疾患 不正咬合・乳歯遺残・口蓋裂・歯周病
6	消化器の病気10	肝臓の疾患 肝臓の働き 肝炎・肝硬変
7	消化器の病気11	肝臓の疾患 肝リビドーシス・門脈体循環シャント
8	消化器の病気12	肝臓の疾患 胆嚢粘液囊腫 脾臓の働き
9	消化器の病気13	脾臓の疾患 脾炎・脾外分泌不全
10	消化器の病気14	消化器疾患動物の看護
11	循環器系1	心臓の構造と働き 僧帽弁閉鎖不全
12	循環器系2	心臓の疾患 犬糸状虫症・動脈管開存
13	循環器系3 先天性心臓疾患	心室中隔欠損、心房中隔欠損、卵円孔開存、ファロー四徴症、右大動脈弓遺残症
14	循環器系4 心筋症と循環器系まとめ	拡張型心筋症、肥大型心筋症、循環器疾患への看護

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末テスト	期末テスト		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護の教科書 配布プリント	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

作成者：西村 美笛

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床検査学Ⅱ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授業の概要

さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。

授業終了時の到達目標

臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことができる。

実務経験有無 実務経験内容

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務。

時間外に必要な学修

動物臨床検査実習Ⅰと連動した授業のため、学習した内容を動物臨床検査実習Ⅰで実践し、理解する必要がある

回	テーマ	内 容
1	導入、培地作成	導入、実技試験について（留置・点滴） 培地座学、培地作成
2	培地作成	培地観察、スケッチ
3	混合ワクチン クロスマッチ試験座学	スタッフ犬猫混合ワクチン クロスマッチ試験座学、血液型判定座学
4	クロスマッチ試験実習	採血、クロスマッチ試験、血液型判定
5	画像診断	レントゲン復習、CT・MRI、エコー
6	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査、生検
7	その他の血液検査①	アレルギー検査
8	その他の血液検査②	ホルモン検査、血液凝固検査
9	採血練習	採血練習（けっかんくん使用）
10～12	採血、血液検査	採血実習、血液検査
13	期末試験（筆記）	期末試験実施（持ち込み可）
14～15	期末試験（実技）	実技試験実施（留置・点滴）

教科書・教材

評価基準

評価率

その他

臨床動物看護学② 動物看護学テキスト	期末試験 課題・レポート	60.0% 40.0%
-----------------------	-----------------	----------------

作成者:本山 みれな

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物医療コミュニケーション	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

動物病院における日常健康管理に関する飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。

授業終了時の到達目標

動物病院業務に必要なコミュニケーション技能について理解する。

実務経験有無 実務経験内容

有

佐賀県の動物病院で2年間動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

実習先やアルバイト先で、獣医師や動物看護師のコミュニケーション方法を観察する。

飼い主への説明の仕方を学び、改善点を考える。

レポートを作成し、提出する。

回	テーマ	内容
1	導入	導入、コミュニケーションとは
2	獣医療面接①	コミュニケーション能力とは
3	獣医療面接②	獣医療面接の基本的技法～傾聴～
4	獣医療面接③	獣医療面接の基本的技法～受容・共感・支持～
5	獣医療面接④	獣医療面接を用いた事前問診
6	獣医療面接⑤	獣医療面接の終え方
7	獣医療面接⑥	獣医療面接の技法を使った具体的な対応
8	クライアントエデュケーション①	クライアントエデュケーションとは
9	クライアントエデュケーション②	飼い主指導
10	グリーフケア①	グリーフとは
11	グリーフケア②	グリーフケアコミュニケーションの実践
12	グリーフケア③	ペットロスへの援助
13	院内コミュニケーション①	チーム獣医療
14	院内コミュニケーション②	動物病院マネージメント

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	レポートの作成		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻 (EDUWARD Press) ・配布資料	期末試験 課題・レポート		60.0% 40.0%	

作成者:本山 みれな

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ペット関連産業概論	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱業者としての実践的知識や手法を学ぶ。

授業終了時の到達目標

- ・ペット関連産業における職業倫理、動愛法などの関連法規、種類と市場規模、その課題について理解する。
- ・動物取扱責任者として業務実施のために必要な知識と動物の取り扱い方法や衛生管理について理解する。

実務経験有無 実務経験内容

実務経験有無	実務経験内容
有	佐賀県の動物病院で動物看護師として2年間勤務

時間外に必要な学修

身近なペット関連産業における役割について、講義の内容と比較して考える。
レポートを作成し、提出する。

回	テーマ	内 容
1	ペット関連産業における職業倫理①	ペット関連産業における責任と社会的役割
2	ペット関連産業における職業倫理②	商取引における関連法規の概要
3	ペット関連産業における職業倫理③	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法
4	ペットの飼育実態と市場規模①	ペットの飼育実態
5	ペットの飼育実態と市場規模②	各ペット産業の市場規模
6	ペットの飼育実態と市場規模③	ペット産業全体の市場規模
7	各ペット関連産業の現状と課題①	ペット産業の分類
8	各ペット関連産業の現状と課題②	動物病院の現状
9	各ペット関連産業の現状と課題③	動物病院以外のサービス業の現状
10	各ペット関連産業の現状と課題④	生体販売業の現状
11	各ペット関連産業の現状と課題⑤	ペットショップの現状
12	各ペット関連産業の現状と課題⑥	その他ペット産業の現状
13	動物取扱業①	動物取扱業制度の概要
14	動物取扱業②	動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践的知識と動物の取扱方法および衛生管理

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	ペット関連産業概論で学んだことを試験する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 (EDUWARD Press)	期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物臨床検査学実習Ⅱ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	1単位（30時間）	必須

授業の概要

さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。

授業終了時の到達目標

臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことができる。

実務経験有無 実務経験内容

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務。

時間外に必要な学修

動物臨床検査実習Ⅰと連動した授業のため、学習した内容を動物臨床検査実習Ⅰで実践し、理解する必要がある

回	テーマ	内 容
1	導入、培地作成	導入、実技試験について（留置・点滴） 培地座学、培地作成
2	培地作成	培地観察、スケッチ
3	混合ワクチン クロスマッチ試験座学	スタッフ犬猫混合ワクチン クロスマッチ試験座学、血液型判定座学
4	クロスマッチ試験実習	採血、クロスマッチ試験、血液型判定
5	画像診断	レントゲン復習、CT・MRI、エコー
6	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査、生検
7	その他の血液検査①	アレルギー検査
8	その他の血液検査②	ホルモン検査、血液凝固検査
9	採血練習	採血練習（けっかんくん使用）
10～12	採血、血液検査	採血実習、血液検査
13	期末試験（筆記）	期末試験実施（持ち込み可）
14～15	期末試験（実技）	実技試験実施（留置・点滴）

教科書・教材

評価基準

評価率

その他

臨床動物看護学② 動物看護学テキスト	期末試験 課題・レポート	60.0% 40.0%
-----------------------	-----------------	----------------

作成者：田上 真紀

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物外科看護学実習Ⅱ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	1単位(30時間)	必須

授業の概要

外科手術に関する技術の実践と応用

授業終了時の到達目標

基本的な手術の基礎ができるようになる

実務経験有無 実務経験内容

有

岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

時間外に必要な学修

外科手技の練習をして実技試験に備える

回	テーマ	内容
1	外科実習Ⅱとは 実技試験③準備 ・器具の確認	・科目の目的と到達目標 ・器具の復習と確認
2	実技試験③準備 ・縫合方法	・手結び 男結びと女結び、外科結び ・器具結び 糸の切り方
3	実技試験③準備 ・メス刃つけ方	・メス刃のつけ方 渡し方
4	実技試験③準備	実技試験③練習
5	実技試験③準備	実技試験③練習
6	実技試験③準備	実技試験③練習
7	実技試験③	実技試験③
8	実技試験③	実技試験③
9	実技試験④準備 ・気管挿管 モニター装着 ・麻酔管理と覚醒 モニター外し	・気管挿管の方法 ・モニター装着方法 ・麻酔管理と覚醒方法 モニターの外し方
10	実技試験④準備	実技試験④練習
11	実技試験④準備	実技試験④練習
12	実技試験④準備	実技試験④練習
13	実技試験④準備	実技試験④練習
14	実技試験④	実技試験④

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	実技試験④	実技試験④		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 第8巻 動物看護学テキスト 配布プリント	実習・実技評価 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅲ	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	30回	2単位 (60時間)	必須

授業の概要

「働くこと」を自分のことのように捉え、自分らしい「キャリアの在り方」についての洞察を深め、将来社会に出て実践できるように、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につける。

授業終了時の到達目標

- ①自己のキャリアを考える上での基礎的理解ができる、仕事選択のやり方を習得できる。
- ②「自分らしさ」についての理解を深め、それを表現し、言語化・文章化できる。
- ③仕事で求められる心構え・姿勢や能力が理解でき、それを学習活動につなげられる。
- ④仕事選択を身近に考えるようになり、キャリア・プランを具体的に立てられる。
- ⑤チームでのワークを体験することによって、社会人に求められる基礎能力を身につける。
- ⑥校外研修に向けた履歴書を作成できる。

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

授業中にやり残した課題を実施する

回	テーマ	内 容
1	動物業界の仕事について	動物業界の仕事を調べる 書き出しまとめ発表する
2	求人の見方	求人の見方と調べ方を学び 実際に調べてみる
3	仕事理解① 「地図を作ってみよう」	ワーク、考察
4	仕事理解② 「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」	ワーク、考察
5	仕事理解③ 「インタビューしてみよう」	ワーク、考察
6～10	春の研修に向けた履歴書準備	春の研修に向けた履歴書準備
11	動物病院での研修について①	研修の目的 グループワーク
12	動物病院での研修について②	研修中のマナーや気を付けること
13	動物病院での研修について③	研修後になりたい姿と今何ができるか
14	研修先を決めるには	研修先を決めるポイントを考える
15～20	研修先のリストアップ	研修希望先をリストアップして提出する
21	研修先の決め方	電話のかけ方
22	研修先への訪問	研修先への訪問

回	テ　ー　マ	内　　容		
		評価基準	評価率	その他
23～ 28	春の研修に向けた履歴書準備	春の研修に向けた履歴書準備		
29～ 30	研修先への訪問	お礼状の書き方		
	教科書・教材 就勝ゼミ教材	課題・レポート	100.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座 I	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位 (30時間)	必須

授業の概要

専門学校での学習の意味を理解し、就職活動に向けて必要なスキルや考え方、自己を表現できる方法を学ぶ。

授業終了時の到達目標

- ・履歴書が書ける。
- ・面接での受け応えができる。

実務経験有無 実務経験内容

有

岡山県倉敷市の動物病院で2年間動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

- ・世の中のニュースに関心をもつこと
(できれば新聞が良いですがまずは、テレビやスマートフォンからニュースを見てみましょう)

回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション 社会人基礎講座で学ぶことの解説 「就職活動の世界」を知る	担当教員自己紹介 社会人基礎講座授業の解説と学ぶ意義について
2	モノの見方 就活基礎教育 (1)	自分自身のモノの見方を把握しよう 人それぞれにモノの見方は異なることを理解しよう
3	偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わってくる
4	「就職活動の世界」を知る	社会を見るセンスを磨く 自分はどんなニュースに興味があるのか
5	考え方 就活基礎教育 (2)	いろんな考え方を知ることで様々な視点から物事を捉えられる
6	話の聴き方 就活基礎教育 (4)	相手の話の聴き方 聞く姿勢、聴き方のコツがあります
7	文章の書き方と構成の仕方 就活基礎教育 (3)	伝えたいこと=文章で見える化 要点をおさえる。事実と解釈は別もの。
8	・自分を知る工夫 (1) (2) ・学生時代に力を入れたこと	(1) 記憶から自分をたどる (2) 他者の力を借りる 行動の動機や根拠を大切にして書く
9	履歴書の書き方と伝え方	履歴書は自分自身の「事実」を書くもの 基本や手順を追って理解しよう
10	自己PR（自己紹介文）を書く	自己PRの基礎をおさえよう
11	自分に合った仕事・会社を探す	働くうえで自分が大切にしたいことはなにか。 どんな環境で働きたいのか。
12	仕事の見つけ方	どんな仕事に就こうと考えているのか その仕事に就くにあたって必要なスキルはなんだろうか。
13	志望動機を書く	志望動機を組み立てる3つの柱 「自己分析」「情報収集」「会社でやりたいこと」
14	世の中の仕事を知る	自分の興味のある業界はどこなのかを選んでみよう また、なぜそれに興味を持つ理由はなにか考えよう。

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	面接の基本	面接の中身から外見（上辺）まで。面接の準備に向けて。 面接は自己表現の場。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材 ・就活動画教材	課題・レポート	100.0%		授業を通して自身の就職先について考えましょう。

作成者:角田 有優美

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ビジネス文書	動物看護総合学科動物看護 医療コース／2年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

ビジネス文書3級に合格するための知識の修得

授業終了時の到達目標

ビジネス文書3級合格。ビジネス文書をつかうことが出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

ビジネス文書3級合格に向けてテキストを熟読し、過去問題で確認する

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	テキスト「受験ガイド3級」まえがきの内容理解 文書検定3領域の理解と受験計画 社内文書と社外文書の比較
2	ビジネス文書を学ぶ理由	ビジネス文書が果たす重要な役割 文書作成技能が求められている理由 ビジネス文書と現代の表記
3	1. 総合 文書は正しく丁寧に書く	片仮名文を漢字仮名交じり文にする問題で、検定試験を体験する 句読点の打ち方や改行の仕方 慣用語の欄の漢字を学習する
4	4. 書式 横書き通信文の構成とレイアウトを学ぶ	社内文書と社外文書の違いを復習する 社内文書と社外文書のレイアウトをパターンとして理解する
5	2. 用字 実用文を書くにあたって知っておくべき用字を学ぶ	常用漢字、固有名詞、ビジネス語 仮名きすべき語句 現代仮名遣いの用い方
6	2. 用字 実用文を書くにあたって知っておくべき用字を学ぶ	片仮名の書き方 数字の書き表し方 句読点の付け方
7	3. 用語 実用文を書くにあたって知っておくべき用語を学ぶ	一般の用語 同音異義語と異字同訓語 慣用の手紙用語
8	1. 正確文章 正確な文章を書く	よじれのない文章が書ける 類義語を正しく分ける 正しく使い分けるための基本
9	2. 分かりやすい文章 分かりやすい文章を書く	表題(件名)が付けられる 箇条書きなどを使って、文章をわかりやすくすることができる
10	3. 礼儀正しい文章 礼儀正しい文章を書く	人を示す言葉・敬称、自他の呼び方、お・ごの使い分け、 尊敬語・謙譲語・丁寧語
11	3. 礼儀正しい文章 礼儀正しい文章を書く	特有の表現、手紙のエチケットやしきたり、敬語、慣用句

回	テ　ー　マ	内　　容		
12	1. 社内文書 社内文書を書く	社内文書の特徴を理解する 簡単な社内文書（通信文など）が書けるようになる 書式の必要性を理解する		
13	2. 社外文書 社外文書	社外文書の特徴を理解する 簡単な事務用文書が、文例を見て書けるようになる 書式を完璧に習得する		
14	文書の取扱	封書の宛名、わき付け・外わき付け、敬称、機密情報、郵便、用紙の大きさ・紙質、印刷物の校正		
15	過去問題・苦手克服	実際の受験を想定して過去問題に取り組む 各領域「表記・表現・実務」それぞれ60%の回答率を得るために、時間配分を考えながら取り組む		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定3級ガイド		期末試験 確認テスト 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	